

# 大牟田市立大牟田中央小学校

## 1 本校のESDの特徴

「持続可能な社会づくりに向けての課題を見出し、それらを解決するために必要な資質・能力を身に付けた子供」を育てるために、校区内の「大牟田市動物園」との関わりを総合的な学習の時間を中心に設定し、各学年で身に付けるべき資質・能力のつながりを考慮した学習を展開している。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年	単元名	目的	活動
1年生	いきものとなかよし	様々な生き物に親しむため  	学校の飼育小屋にいるウサギと繰り返し触れ合ったり、ウサギのよりよい飼育について大牟田市動物園の飼育員の方々から教えてもらったりする活動。
2年生	わたしの町はっけん	動物園に愛着をもつため  	地域の様々な場所の一つとして、大牟田市動物園に出掛けて動物園で働く方々が動物と関わっている姿を見たり、疑問に思ったことを尋ねて話を聞いたりする活動。
3年生	動物園をしょうかいしよう	動物への理解を深めるため  	動物のひみつについて調べたり、調べたことを動物ガイド1日ボランティアとして大牟田市動物園に来られた方々に発信したりする活動。
4年生	自然観察ウォッチング	自然への理解を深めるため  	延命公園に生息している植物や野鳥、水辺の生き物、昆虫、樹木を観察したり、ネイチャーガイドの方々と関わったりする活動。
5年生	見つけよう 広げよう わたしたちのまちの宝	動物園の取組や飼育への理解を深めるため  	大牟田市動物園の飼育員の方々と繰り返し関わったり、動物福祉の考え方に基づく飼育員の方々の様々な工夫や取組を発信したりする活動。
6年生	卒業に向けて	夢や目標の実現に必要な取組や努力への理解を深めるため  	夢や目標を実現した様々な人たちとして、大牟田市動物園で働く獣医の方や飼育員の方々と繰り返し関わる活動。

## 3 特徴的な活動事例の紹介

5年生 総合的な学習の時間 単元名「見つけよう 広げよう わたしたちのまちの宝」

### (1) 目標

○動物園の取組の背景にある立場のつながりや根本となる考えについて理解し、自分事として課題解決することができるようにする。 (知識及び技能)
○自分との関わりで課題を見出し、動物園の取組を批判的・多面的・総合的に整理・分析し、他者意識をもってまとめ・表現することができるようにする。 (思考力・判断力・表現力等)
○動物園の魅力伝えるために主体的・協働的に取り組み、他者の考えを生かしながら自分事として参画することができるようにする。 (学びに向かう力・人間性等)

## (2) 活動の実際

### ○課題の設定

市役所の観光おもてなし課の山口さんから、「大牟田の発展と動物園に深い関わりがあること。」「閉園の危機に遭いながらも、生誕80周年を迎えたこと。」「大牟田のみんなに愛された動物園であること。」等、子供たちが1学期の学習の中では気づきかなかった内容を話していただいた。子供たちは、自分がもっていた考えと現実に大きなズレを見出し、「動物園のひみつを見つける」という課題を設定し、情報の収集の過程へと向かっていった。



写真1 考えのズレから課題の設定

### ○情報の収集

「動物園のことを一番よく知っている園長さんからひみつを見つきたい。」という子供たちの思いを基に、園長の椎原さんに関わり、動物園で働く人が大切にしている考え方への理解を深めた。また、「飼育員の方々からひみつを見つきたい。」という子供たちの思いを基に、各動物担当の飼育員の方々と関わり、動物園で働く人が大切にしている飼育への理解を深めた。



写真2 飼育についての情報の収集

### ○整理・分析

動物園のひみつである飼育の仕方を整理・分析する中で、「動物本来の野生の動きを引き出す環境を整える」と「動物に協力してもらって健康を保つ」という共通点に気づき、この2つが動物園が大切にしている「環境エンリッチメント」と「ハズバンドリートレーニング」であることを理解し、「動物福祉の考え方」と「実際の飼育」がつながっていることを実感できた。



写真3 飼育の仕方の整理・分析

### ○まとめ・表現

「自分たちでできる。」「効果的・効率的である。」といった視点を基に、対象に合わせた表現方法を考え、動物園の魅力をちらしや新聞等にまとめ・表現して発信した。「相手意識をもって、言葉遣いや目線、話す速さ、抑揚に気を付けて伝えることができた。」「相手からの反応や感想を通して、改めて動物園の魅力を実感することができた。」「もっと魅力を見つけて、より多くの人たちに伝えて動物園に来てもらいたい。」と、自分自身の成長や学びの価値、そして、新たな課題に気づき、自己の生き方への考えを深めた。

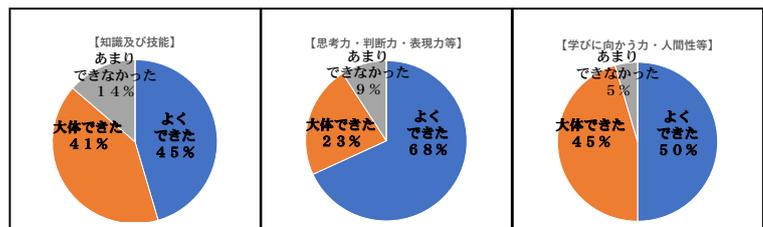


写真4 動物園の魅力のまとめ・表現

## 4 本年度の成果と課題

### ○成果

・3つの観点に基づくアンケートの結果、いずれもできた割合が高く、「持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養うこと」につながる学習を展開できた。



### ○課題

・体験活動がオンラインとなることがあり、臨場感や切実感を味わいにくかった。学校に来ていただく、少人数のグループで訪問する、臨場感や切実感を味わえるような映像等の工夫が必要。